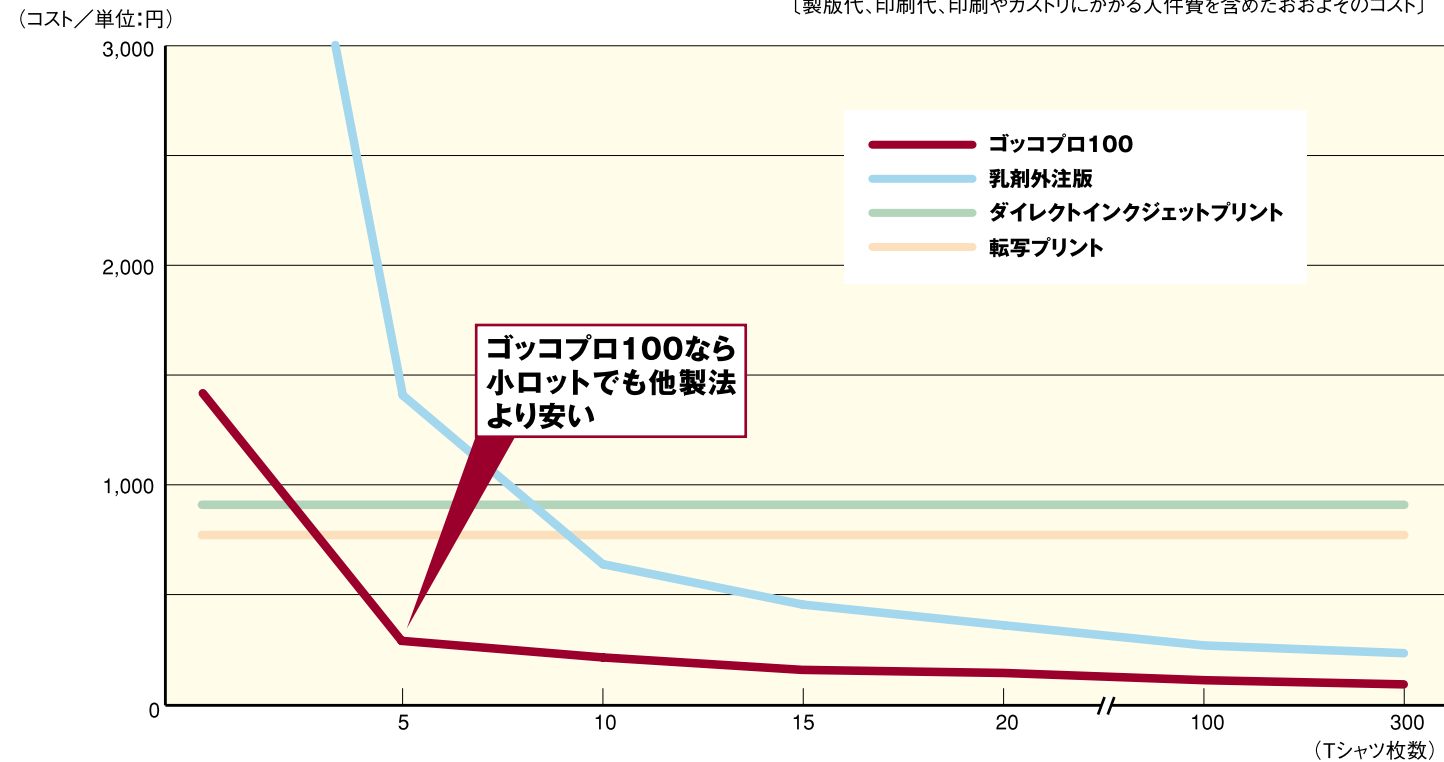
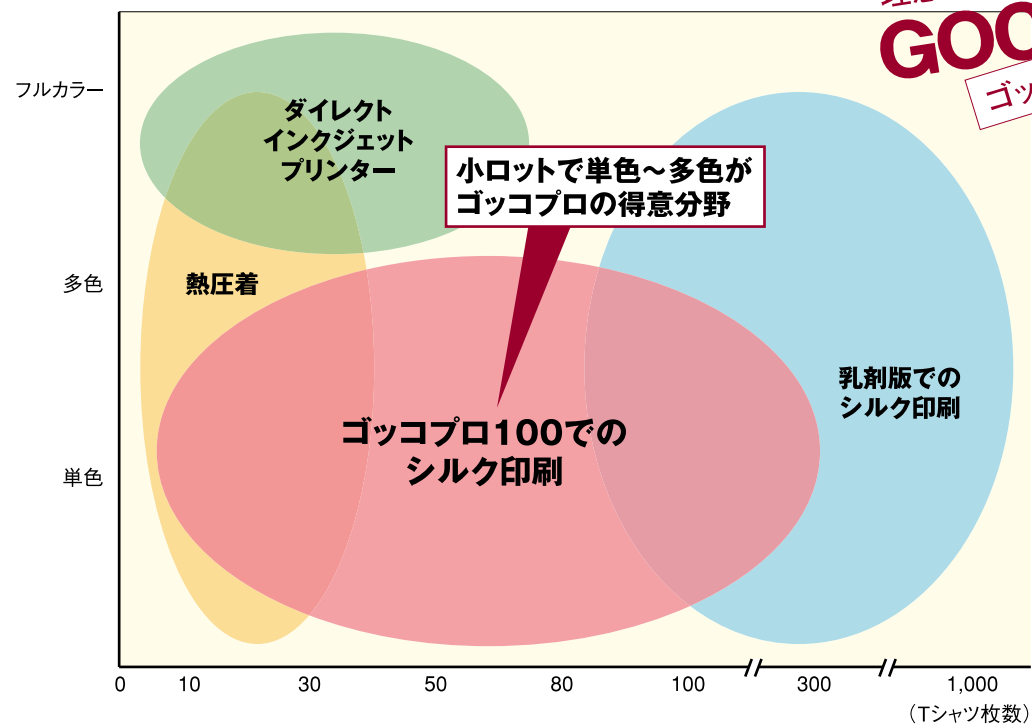


■ゴッコプロ100と他製法のTシャツ1枚あたりの製造コスト比較
〔製版代、印刷代、印刷やカストリにかかる人件費を含めたおおよそのコスト〕



ゴッコプロ100なら
小ロットでも他製法
より安い

■Tシャツプリントにおけるゴッコプロ100のポジショニング



小ロットで単色～多色が
ゴッコプロの得意分野

ゴッコプロ100での
シルク印刷

理想科学工業のデジタルスクリーン製版機
GOCCOPRO100
ゴッコプロ

低コスト&早いシルク印刷で
小ロットビジネスに勝つ

— 広告企画 —

カラープリンターがどれほど進歩しても、シルク印刷は今もプリントやマーケティングの王道である。布からプラスチック、金属、ガラスまで対象物を選ばず、印刷コストも安い。しかし、従来の乳剤版を使う場合は「1000枚以上の大量生産なら」という注釈が必要だ。乳剤版を外注すると6000円(1万2000円※1)かかり、小ロットの注文では割に合わない。製版の納期も2〜3日かかるのが一般的で、急ぎの注文にも対応できない。

わずか1分45秒、800円で製版できる

そこで、数十、数百単位の小ロット注文がメインのOGBSには、理想科学工業㈱のゴッコプロ100をお勧めしたい。

ゴッコプロ100は乳剤による感光ではなく「感熱」で製版をおこなう。乳剤だけでなく薬品も水

も使わない完全ドライ製版方式だ。暗室や紗張り機、露光機などの設備投資やそれらの設置場所も不要なので、低投資かつ省スペースで自社で製版できる。

使い方も簡単。パソコンで作成したデータをゴッコプロ100に転送し、本体のボタンを押すだけ。プリンター感覚で版(スクリーンマスター)が製版される。その間わずか1分45秒(※2)。後は、スクリーンマスターを専用のフレームに張るだけ。データ転送からシルク印刷の刷り始めまで15分もあれば充分だ。1版あたりのコストは約800円だから小ロット注文でも版代が充分まかなえる。

定期的にリビートがある場合は乳剤版の置き版も便利だが、一度きりの小ロット単色〜多色プリントの場合、低コストでスピーディー、版を保管する場所もとらず、製版も簡単に早いゴッコプロ100は乳剤版よりもユースフルと言

※1:東京エリアの最近の相場価格。版の大きさや枠の材質にもよる。 ※2:製版長さ420mm、フレーム1(590mm)選択時。データ転送時間は含まない。

■ゴッコプロ100の製版工程



※ 枠張りのための専用のワンタッチフレームはクリップで固定する簡易タイプと、半自動印刷機にも使える厚枠タイプの2種類が用意されている。

8 GOCCOPRO 100
ゴッコプロの8つのスゴイところ

1. プリンター感覚の簡単操作
2. 製版時間はわずか105秒
3. 1版あたり約800円 (120メッシュのマスター使用時)
4. 仕上がりが鮮明600dpi (穿孔密度1200dpi)



5. 薬品も水も使わない 完全ドライ製版方式
6. 暗室、水洗不要だから設置場所を選ばない
7. ワンタッチフレームで紗張り機不要
8. Illustrator, Photoshop, Word など様々なソフトから出力可能

RISOデジタルスクリーンマスターは全部で4種類

- 【水性・溶剤インク両用タイプ】
70メッシュ・[70P-32-12]
粒子の大きい顔料インクでの布プリントに。
- NEW 120メッシュ・[120P-32-12]
ベタや細かい文字・線などの、精細な布プリントに。
- 200メッシュ・[200P-32-12]
より高精細な印刷や、布・プラスチック・金属へのプリントに。
- 【溶剤インク専用タイプ】
180メッシュ・[180P-32ASHQ-12]
耐溶剤性により優れたマスター。プラスチック、金属に。

お問い合わせ 理想科学工業株式会社 プリントクリエイティブ事業部
TEL:03-5537-1585 FAX:03-3572-2023
http://www.riso.co.jp/product/goccopro100

Illustrator, Photoshopの名称およびロゴはアドビシステムズ社の登録商標です。Wordの名称およびロゴはマイクロソフト社の登録商標です。

えるだろう(右頁上図参照)。
コストと使い勝手以外にもゴッコプロ100が乳剤版より優れている点を紹介しよう。

乳剤版は汗や唾液が付くと目詰まりを起こす。ジューズなどをこぼしても使い物にならなくなる。乳剤版は高価なだけにリスクも高い。対してゴッコプロ100なら汗などで版が壊れる心配もないので、そういった印刷中のトラブルまで考えれば、大量生産の仕事でもゴッコプロ100で数枚製版する方がリスクが少くないと言える。

また乳剤版は対象物によって水性インク用か油性用か版を変えなくてはならない。ノベルティなど持ち込み対象物が多い仕事では、例えば綿のウェアだと聞いて水性用の版を作らせたのに商品が届い

たらナイロンだった、というトラブルも。水性、油性を問わず使えるゴッコプロ100ならそんな心配も無用だ。スクリーンマスターも目詰まりしにくい70メッシュから細かい線などの精細な布プリントに適した120メッシュ・200メッシュ・溶剤インク専用タイプまで揃っているのだから、様々な対象物に幅広くプリントできる。

5枚以上なら熱圧着よりも有利

ゴッコプロ100専用スクリーンマスターの印刷可能巾を最大限に活用するため、新発売されたスクリーン用テンション枠「GP-TW」を試して欲しい。テンションを調整しながら枠にしっかり張れるので印刷品質も向上する。

乳剤版だけでなく、他の製法ともコストを比較したが(上のグラフ参照)、転写プリントなら5枚以上、ダイレクトインクジェットプリンターでも3枚以上作る場合、ゴッコプロ100によるシルク印刷の方が有利になる。転写プリントの場合はカストリなどにかかる人件費、ダイレクトインクジェットプリンターの場合はインク代などのランニングコストを総合して考えると、単色〜多色刷りの小ロット注文はやはりゴッコプロ100に軍配が上がるのだ。

千単位の大量ロットやフルカラーの注文に備えるよりも、ゴッコプロ100を活用した低コスト&スピーディーな次世代のスクリーン印刷を貴店の武器にして欲しい。